

QR Newsletter



第四紀通信

Vol. 24 No.1, 2017



平成 28 年度国際会議誘致・開催貢献賞授賞式集合写真：日本政府観光局（JNTO）提供

Vol. 24 No. 1

February 1, 2017

国際会議誘致・開催貢献賞受賞報告.. 2	役員選挙について..... 4
2017年大会案内（第3報）..... 2	組織改革委員会議事録..... 5
JpGU-AGU Joint Meeting 2017案内 （第2報）..... 3	幹事会議事録..... 5
第3回アジア第四紀研究会議案内.... 3	QI日本特集号無料ダウンロード期限.. 7
	会員消息..... 7

◆平成 28 年度日本政府観光局 (JNTO) 国際会議誘致・開催貢献賞の受賞



日本政府観光局の松山良一理事長との記念撮影

2015年夏に日本第四紀学会が日本学術会議と共に開催した、「国際第四紀学連合第19回大会」が、日本政府観光局による標記の賞を受賞しました。「国際会議開催にあたり会議運営、地域貢献等において、今後の模範となる実績を挙げた国際会議」にあたるとして選定されたことは大変光栄なことでもあります。

本賞は、国際会議の意義の普及および啓発やさらなる推進を図るため、2008年度に新設され、今回で9回目です。

国際会議誘致の部6件、国際会議開催の部7件の合計13件が選ばれましたが、われわれは国際会議開催の部に選定されました。

2016年12月6日(火)にパシフィコ横浜で授賞式が開催され、会議開催時の主催団体の会長であった小野が代表して出席し、賞状と盾を受け取りました。推薦をいただいた、名古屋観光コンベンションビューローの関係の皆さまにも会場でお会いし、お礼を申し述べました。ここに会員のみなさまにご報告申し上げます。(小野 昭)



今回の受賞で拝受した賞状と盾

◆日本第四紀学会 2017 年大会案内 (第 3 報)

日本第四紀学会 2017 年大会は、下記の日程で開催予定です。

開催期間：2017 年 8 月 26 日 (土) ～ 8 月 30 日 (水)

開催場所：福岡大学 中央図書館多目的ホールおよび 18 号館 2 階講義室

日程：

8 月 26 日 (土) 一般研究発表 (口頭およびポスター)

8 月 27 日 (日) シンポジウム「第四紀研究から防災・減災への多角的なアプローチ」
総会・各賞授賞式、懇親会

8 月 28 日 (月) 一般研究発表 (口頭およびポスター)

8 月 29 日 (火) ～ 30 日 (水) 巡検

「古代伊都国の史跡と第四紀地質」(29 日)

「熊本地震関連で巡る熊本～阿蘇」(29～30 日)

*発表の申込方法などにつきましては次号以降の第四紀通信に掲載いたします。

◆ JpGU-AGU Joint Meeting 2017 のお知らせ (第2報)

2017年5月20日(土)から5月25日(木)にかけて幕張メッセ(千葉県)で開催される2017 JpGU-AGU Joint Meetingの発表投稿受付が1月6日から2月16日まで行われております。投稿料が割引になる早期投稿の締め切りは2月3日正午です。第四紀学会では、「ヒト-環境系の時系列ダイナミクス」を単独で、「活断層と古地震」を共同提案で主催します。また、その他の第四紀学と関係する多数のセッションに共同提案母体となっております。下記に主な関連セッションを挙げておきますので、発表登録をどうぞよろしくお願い致します。

- H-QR05: ヒト-環境系の時系列ダイナミクス (JJ、会場: 106)
 口頭: 5月25日(木) AM1、AM2 / ポスター: PM1
- S-SS12: 活断層と古地震 (EJ、会場: A04)
 口頭: 5月22日(月) PM2、5月23日(火) AM1、AM2、PM1 /
 ポスター: 5月23日(火) PM2、PM3
- S-SS07: 地表地震断層の調査・分析・災害評価 (EE、会場: 101)
 口頭: 5月24日(水) AM1、AM2 / ポスター: 5月24日(水) PM2、PM3
- H-SC07: 人間環境と災害リスク (EJ、会場: A02)
 口頭: 5月21日(日) PM1 / ポスター: 5月21日(日) PM2、PM3
- H-CG28: デルタ(三角州): 複雑系への学際的アプローチ (EE、会場: 106)
 口頭: 5月24日(水) AM1、AM2 / ポスター: 5月24日(水) PM2、PM3
- U-04: 連合は環境・災害とどう向き合っていくのか (EJ、会場: コンベンションホール B)
 口頭: 5月25日(木) AM1、AM2

※それぞれの時間帯は以下のとおりです。

AM1: 9:00-10:30、AM2: 10:45-12:15、PM1: 13:45-15:15、PM2: 15:30-17:00、PM3: 17:15-18:30

◆ 第3回アジア第四紀研究会議のご案内

2017年9月4日～8日に韓国済州島において、第3回アジア第四紀研究会議 3rd ASQUA (Asian Conference on Quaternary Research) が開催されます。2007年に第四紀学会の50周年記念国際大会がつくばで開催され、その際にアジア第四紀研究会議を設けることが決められました。第1回が2009年10月19日～23日に中国の北京で、第2回が2013年9月9日～15日にロシアのウランウデで開催され、今回が第3回になります。INQUA大会のインターコンGRESの4年毎に開催されています。会議は、9月4日:登録、9月5日と6日:研究発表、9月7日:巡検となっており、投稿の締切は2017年5月末の予定です。

次号の通信に手続きやホームページの詳細な報告ができるかと思います。

是非、日程に入れておいて頂き、ご参加頂けますようお願い致します。

セカンドサーキュラーを受領希望の方は、以下の内容を、kji(at)kigam.re.kr (Dr.JuYong KIM) and shyi(at)kigam.re.kr (Dr.Sangheon YI) までお送りください。

1) Title: Mr, Ms, Dr, Prof., 2) Name & Country: (given name) (surname) (Country) , 3) Gender: Male, Female, 4) Affiliation:, 5) Mailing Address:, 6) E-mail:, 7) Telephone:, 8) Fax:

Please indicate "Yes or No" given below:

() I want to receive the 2nd circular

() I want to attend the 3rd ASQUA 2017

() I plan to give an oral presentation

entitled: _____ .

() I plan to give a poster presentation

() I plan to join the post-conference excursion

() My accompany is interested in participating as a sponsor or exhibitor

問い合わせ先: 斎藤文紀 (ysaito(at)soc.shimane-u.ac.jp)

◆ 2017-2018 年度役員選挙について

昨年改訂された会則および役員選挙規程に基づき、2017-2018 年度役員選挙が実施されます。今回の選挙は、今までの選挙と異なる点が多々ありますので、ご注意ください。

- ・立候補／推薦制を取ります。立候補届・推薦届の様式および提出方法については、選挙公示に併せてお知らせ致します。
 - ・評議員だけでなく、会長と副会長にも投票してください。
 - ・投票用紙には、記名ではなく、選挙番号を記入します。
 - ・自分が所属する領域の候補者への投票と、他の領域の候補者への投票では、1票の重みが異なります。投票用紙がお手元に届きましたら、期日に遅れないよう忘れずに投票してください。
- また、みなさまからの積極的な立候補・推薦をお待ちしております。

2017-2018年度役員選挙の流れ

1月下旬

選挙管理委員会設置

領域区分が示された会員名簿が送付されます。

2月下旬

選挙公示／立候補・推薦受付開始

立候補者は届け出をして下さい。
推薦には候補者本人の承諾が必要です。

3月下旬

立候補者確定／投票用紙送付

会長・副会長は、候補者の中から選びます。
評議員は、候補者及びその他全ての正会員の中から選びます。

4月上旬

投票開始

期日までに忘れずに投票して下さい。

5月上旬

開票・選挙結果発表

当選した評議員の中で役職について話し合いが行われます。

6月中旬

領域代表・執行部会・各種委員長決定

◆日本第四紀学会 2016 年度第 3 回組織改革委員会議事録

日時：2016 年 12 月 28 日（水）10:00～17:00
 場所：広島大学東京オフィス 408 会議室
 出席：小野 昭会長、奥村晃史副会長、斎藤文紀副会長、吾妻 崇、北村晃寿、須貝俊彦、水野清秀、
 欠席：小荒井 衛、百原 新

報告事項

領域登録の状況が報告された。

審議事項

1. 会長・副会長・評議員選挙の日程を、幹事会の作成した原案を元に検討した。
2. 領域の公平性に配慮して選挙管理委員会候補者

- について検討した。
3. 選挙以外の学会の新体制に関わる問い合わせ先は幹事会とすることとした。
 4. 役員選挙実施細則について検討した。
 5. 立候補届け・辞退届けの様式を検討した。
 6. 投票用紙の様式を検討し、今後は選挙管理委員会で継続審議することとした。
 7. 評議員会規程、領域規程、執行部会規程、日本第四紀学会若手学術賞規程、若手学術賞選考に関する内規について検討した。
 8. 庶務委員会規程、会計委員会内規、編集委員会規程、広報委員会規程、行事委員会規程、渉外委員会規程、大会運営規程を検討し、継続審議することとした。

◆日本第四紀学会 2016 年度第 2 回幹事会議事録

日時：2016 年 11 月 12 日（土）14:00～17:15
 会場：帝京平成大学中野キャンパス 11 階 1144 会議室
 出席：小野（会長）、奥村（副会長）、斎藤文紀（副会長）、吾妻（幹事長）、兵頭（顕彰）、藤原（編集）、卜部（編集）、小森（企画）、百原（庶務、議事録）、伊津野（事務局）
 欠席：小荒井（渉外）、齋藤めぐみ（広報）、米田（行事）、植木（会計）、須貝（渉外）

＜報告事項＞

幹事長：2016 年度組織改革委員会第 1 回（9 月）、第 2 回（11/6 開催）会合に出席、第 2 回会合では若手学術賞規程案について検討を行った。

庶務：1. 領域登録について。領域登録・名簿調査票の作成、発送（9 月 30 日付、9 月 28 日締め切り）を行った。10 月中に会員 ML を通じて 3 回の登録の催促を行った。11 月 2 日時点で未登録者を抽出し、メールアドレス登録者にはメールで登録票を送付、アドレス未登録者へは、往復はがきで登録票を送付した。2. 後援依頼「第 21 回震災対策技術展 横浜」からの後援依頼に対し、後援することとした。3. 加藤芳朗名誉会員追悼文を宇津川徹会員に依頼した。4. 会員へのお知らせ 4 件を会員 ML に配信した。

会計：第 2 回評議員会での中間会計報告の準備と来年度の予算計画についての検討を早い目に進めることとした。

編集：55 巻 6 号の刊行予定、手持ち論文、シンポジウム特集号の予定の確認を行った。次回編集委員会は 11 月 26 日（土）の予定。

広報：1. 2016 年各賞受賞者から受賞のことばを受領した。通信 2 月号の内容について、議論を行った。

渉外：1. JpGU：「活断層と古地震」についてセッション登録のほか、連続開催希望と同時開催回避希望を登録した。10 月 30 日に 4 学会からのコンビナー会合を開き、招待発表やハイライト発表についての対応を検討した。「ヒトー環境系の時系列ダイナミクス」について同時開催回避希望を登録した。2. 日本自然史連合：12 月 23 日の総会は小荒井が出席予定。1 月 21 日開催の講演会（群馬県立自然史博物館）の体験講座は小森氏が対応予定。3. 防災学術連携体：12 月 1 日に日本学術会議においてシンポジウム開催予定。

行事・企画：1. 千葉大会報告。参加者 150 名（正会員 128 名、名誉会員 5 名、学生・院生 10 名、予稿数販売数 140 部）。巡検参加者 9 名（会員 5 名、学生 4 名）。2. 評議員会とジオパークシンポジウムの時間、会場、時間を確認した。

日本学術会議 INQUA 分科会：12 月 27 日に第 23 期 INQUA 分科会第 4 回会合を開催する予定。

INQUA 大会組織委員会：最後の会議を年末に開催する予定。12 月 27 日第 23 期 INQUA 分科会第 4 回会合で会計報告を行う。

事務局：1. 会員の入退会・異動の管理を行った（入退会なし。異動 4 件）。2. 学会宛の郵送物の管理、名簿登録情報ならびに領域登録に関する文書発送と回答情報の集計を行った。

＜審議事項＞

- 1) 領域未登録者への対応として往復はがきでの催促を行うこととした。11 月 25 日にリストを集計し、

幹事会で対応することとした。

2) 研究委員会 2015 年度活動報告ならびに 2016 年度活動計画：「第四紀年代層序研究委員会」、「テフラ・火山研究委員会」、「社会のための第四紀学研究委員会」の活動報告書、計画書を確認し、次回評議員会で報告し、承認を得ることとした。

3) 2016 年度第 2 回評議員会議事及び資料：吾妻と百原が打ち合わせ、12 月中旬に評議員に案内を送る準備を行うこととした。

4) 共催および後援について：「第 26 回環境地質学シンポジウム」への共催、国際シンポジウム 2016 「堆積物から噴火の歴史を読みとる—火山山麓の湖から」への後援を行うこととした。

5) 『第四紀通信』23 巻 6 号の掲載記事：原稿の確

認を行った。

6) 論文賞・奨励賞の選考方法について：編集委員会に推薦を依頼できるよう、内規を改正することについて、議論を行った。

7) 2017 年学会賞・学術賞候補者選考委員ならびに 2017 年論文賞・奨励賞候補者選考委員の選挙のための候補者を選考した。

8) 2016 年受賞者による受賞記念講演会の日程：第 3 回評議員会とあわせて開催。6 月 17 日、18 日を第 1 候補として受賞者と調整することとした。

9) 選挙管理委員会の設置準備。5 名。選挙管理委員は次期執行部には入らないことを確認し、候補者を検討した。

◆日本第四紀学会 2016 年度第 3 回幹事会議事録

日時：2017 年 1 月 9 日（月）13:00～17:00

会場：広島大学東京オフィス 408 会議室

出席：小野（会長）、奥村（副会長）、吾妻（幹事長）、小荒井（渉外）、須貝（渉外）、百原（庶務、議事録）

欠席：斎藤文紀（副会長）、兵頭（顕彰）、藤原（編集）、卜部（編集）、小森（企画）、齋藤めぐみ（広報）、米田（行事）、植木（会計）、伊津野（事務局）

<報告事項>

幹事長：2016 年度組織改革委員会第 3 回会合（12 月 28 日）に出席した。

庶務：1. 未登録者に領域登録依頼の電子メールを送信し（20161124）、メールアドレス未登録者へは往復ハガキを送付した（20161125）。12 月 2 日以降、幹事会メンバーで未登録者への依頼を行った。12 月 25 日現在での未登録者に、再度往復ハガキでの登録催促を行った（20161225）。2. 会員名簿に掲載する会則・細則集の原稿作成を行い、チェックを幹事に依頼した（20161226）。3. 学会賞選考委員、論文賞選考委員の選挙投票用紙を送付した（20161216）。投票締め切りは 1 月 17 日で、当日到着分まで有効。開票は 1 月 23 日（月）10:00 より千葉大学園芸学部（百原、伊津野立会）で実施する予定。4. 顕彰関係選挙書類と同封で第 2 回評議員会案内およびシンポジウムちらしを送付した。5. 会員へのお知らせ 7 件を会員 ML に配信した。

広報：1. 通信第 23 巻 6 号の編集を行った。2. 通信第 24 巻 1 号の原稿依頼を行った。

編集：1. 編集委員会を 11 月 26 日に開催した。2. 55 巻 6 号を 12 月初頭に刊行した。3. 56 巻 1 号は

2 月初頭に刊行予定。4. 56 巻 2 号へ向け、「ジオパーク特集号」の投稿論文を査読中。5. 次回編集委員会を 1 月 28 日（土）に開催する予定。6. 千葉大会で開催された 5 領域のシンポジウムのうち、3 つの領域（領域 2、領域 3、領域 5）から特集号の希望あり。領域 5 のシンポジウムの特集号は第 56 巻 3 号の掲載を目指して準備中。編集担当は植木・小森・西山・小荒井・黒木の 5 名。

渉外：1. JpGU：1 月 6 日に発表要旨の投稿受付が開始された。投稿締切は 2 月 16 日（早期は 2 月 3 日）。第四紀学会の主催、共同開催のセッションの日程と会場を確認した。情報を通信に掲載することとした。2. 日本自然史連合：12 月 23 日（東大総合博物館）に開催された総会大会に出席。1 月 21 日開催の講演会（群馬県立自然史博物館）の体験講座は小森企画幹事が対応予定。3. 防災学術連携体：12 月 1 日に日本学術会議においてシンポジウムが開催された。熊本地震 1 周年報告会 4 月 15 日（熊本）への対応を協議した。

行事・企画：1. シンポジウム：1 月 28 日（土）13:00～17:50 第四紀学会公開シンポジウム「ジオパークと土壌—大地・生態系・人の営みをつなぐ土壌の役割」を開催する。2. 受賞者講演会：6 月 17 日または 18 日に開催予定で講演者に調整中。3. 2017 年大会：日程：8 月 26 日（土）～28 日（月）発表・シンポジウム、29～30 日巡検を予定、奥野 充大会実行委員長を中心に準備中。

日本学術会議 INQUA 分科会：1. 12 月 27 日に第 23 期 INQUA 分科会第 4 回会合を開催し、2016 年の活動報告と 2017 年の代表派遣について検討した。

国際第四紀学連合第 19 回大会組織委員会：1. 12 月 29 日に第 40 回大会組織委員会幹事会を開催し、

2016年における活動状況と会計監査報告結果を確認するとともに、2017年における活動方針を決定した。大会開催報告書については、2016年度第3回評議員会で配布する予定。

ジオパーク支援委員会：1. 1月28日（土）午後にジオパークと土壌学のシンポジウムを開催する予定。会場準備担当（植木）。2. 「第四紀研究」第56巻2号を「ジオパーク特集号」にする予定。

組織改革検討委員会：1. 12月28日に2016年度第3回会合を開催し、役員選挙の進め方、常設委員会に関する細則等について検討した。

事務局：1. 会員の入退会・異動の管理を行った（入会1件、退会希望31件、異動なし）。2. 学会宛の郵送物の管理を行った。3. 名簿登録情報ならびに領域登録に関する文書発送と回答情報の集計を行った。

<審議事項>

1) 選挙管理委員候補者の選出：2017-2018年度役員選挙の選挙管理委員候補者を決定した。

2) 役員選挙について：評議員立候補届け、投票用紙の様式について議論を行った。選挙スケジュール案を検討した。

3) 若手学術賞の設置について：次回評議員会に諮るが、組織改革委員会で検討中の顕彰規程とあわせて、内規の検討を続けることとした。

4) 細則の改訂と新規細則の制定：評議員会規程、領域規程、執行部会規程、日本第四紀学会若手学術賞規程、若手学術賞選考に関する内規について検討した。評議員会規程、領域規程、執行部会規程、法務委員会規程、名誉会員候補者選考規程を1月の評議員会に諮ることとした。

5) 会員名簿について：2012年以降の記録すべきイベントについて検討した。

6) 日本学術会議 INQUA 分科会の連携会員候補者の推薦について検討した。

7) 次号通信の記事について：掲載記事および分担を確認した。

8) 評議員会・シンポジウムの準備・確認：植木会計幹事に会計中間報告の準備を依頼。

◆ Quaternary International 日本特集号の無料ダウンロードは3月17日までです

2016年3月18日に出版された Quaternary International 日本特集号 (Japanese Quaternary Studies) の無料ダウンロードは出版から1年間限りとなっています。間もなく期限の3月17日となりますので、是非この機会にダウンロードしてください。

Quaternary International

Volume 397

pp. 1-588 (18 March 2016)

Japanese Quaternary Studies

48本の論文と巻頭言から構成されています。

<http://www.sciencedirect.com/science/journal/10406182/397>

★★★ 第四紀通信に情報をお寄せ下さい ★★★

第四紀通信の原稿は随時受け付けております。

広報幹事：齋藤めぐみ (memekato(at)kahaku.go.jp) 宛にメールでお送り下さい。

第四紀通信は奇数月月上旬原稿締め切り、偶数月 1 日刊行予定としていますが、情報の速報性
ということから、版下が出来た段階でホームページに掲載するよう努力しています。

奇数月 15 日頃にはホームページにアップするようにしていますのでご利用下さい。

日本第四紀学会広報委員会 国立科学博物館 地学研究部 齋藤めぐみ
〒 305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1 FAX：029-853-8998

広報委員：那須浩郎・糸田千鶴・奥村公弥子 編集書記：岩本容子

日本第四紀学会ホームページ <http://quaternary.jp/> から第四紀通信バックナンバーの PDF ファイル
を閲覧できます。

日本第四紀学会事務局

〒 169-0072 東京都新宿区大久保 2 丁目 4 番地 12 号 新宿ラムダックスビル 10 階

株式会社春恒社 学会事業部内

E-mail：daiyonki(at)shunkosha.com 電話：03-5291-6231 FAX：03-5291-2176